

事業1 世界基準の安全・安心を目指して、東京から初の挑戦！

セーフコミュニティ認証取得事業(新規)



高齢者の転倒予防活動



繁華街での防犯パトロール

事業費 9,386 千円

注目ポイント！

「セーフコミュニティ」とは、WHO(世界保健機関)が推進している、「予防」に重点を置いた、安全と健康の質を高めるまちづくり活動です。

日本では2団体、世界では177の団体(H21年12月現在)が、その認証を取得しており、東京からは豊島区が初めての挑戦となります。

背景・目的

豊島区では、町会の安全活動や繁華街におけるパトロール、学校の安全、高齢者の介護予防など、数多くの区民主体の活動が展開され、交通事故や犯罪は減少傾向にあります。その一方で、自殺や虐待、孤独死など、外傷の要因が多様化しており、これまでの縦割り部門別の対応では、有効な活動が難しくなっています。

「セーフコミュニティ」は、「科学的分析に基づく予防プログラム」と「部門横断的な連携・協働」を基本として、「けがや事故等は決して偶然の結果ではなく、地域が力を合わせることで必ず予防できる」とする考え方です。地域ぐるみで認証に挑戦することで、広く国内外の取り組みに学び、日本一の高密都市から独自の「セーフコミュニティ」のモデルを発信します。

事業概要

- ① 「セーフコミュニティ推進協議会」の運営(学識者、区民団体、警察、消防、医療、行政)
- ② 外傷調査の実施(子ども、高齢者、家庭、職場、学校、街中など、外傷データを把握・分析)
- ③ 豊島区の外傷発生特性を踏まえた、予防プログラム立案対象の明確化

スケジュール

- ◎H22年/外傷データの分析、課題の明確化、地域をあげた運動、住民の意識向上
- ◎H23年/予防プログラムの作成、外傷サーベイランスの仕組みづくり
- ◎H24年/認証申請書の提出、認証審査、認証

問い合わせ 政策調整担当副参事